

その他部局等



県内外の大学・公共図書館との連携で地域の学びを支える

附属図書館

📖 教育 📖 研究 📖 社会貢献



【活動概要】

鳥取大学附属図書館は「鳥取大学附属図書館ビジョン」を定め、鳥取大学の基本理念「知と実践の融合」を実現するために、教育・研究の支援を行う学術情報基盤拠点として、教員・学生と協働のもと、学生の多様な学修環境を整備し、研究を推進するための電子的リソースを中心とする学術情報を安定的に提供するとともに、学内で創成される教育研究成果の発信・保存のポータル機能を担っています。

さらに、地域社会に貢献する、地域の知の拠点としての役割を担い、公共図書館・大学図書館その他の組織と資料の貸借、文献複写、レファレンスについて積極的な連携協力を行い、社会全体の財産である学術情報を共有することで、学術の発展に寄与し、SDGsの達成に貢献します。

学術情報の提供



中央図書館書架



中央図書館閲覧室



個人学修用ブース



SDGsに関する展示

他の図書館との連携



県内外図書館との
資料の貸借、文献複写



学内に移動図書館車

【担当】図書館情報課

鳥取大学カーボンニュートラル宣言について

研究推進機構 研究推進部

📖 教育、研究、社会貢献、大学運営



【活動概要】

本学では、鳥取砂丘の砂防造林の研究を端緒とする乾燥地研究をはじめとする環境問題に関する様々な研究を通して、地域・国・世界への貢献に取り組んできました。このような活動を一層加速し、脱炭素社会、カーボンニュートラルの実現に貢献するため、本学では令和4年6月28日にカーボンニュートラル宣言を発出しました。また併せて、カーボンニュートラル行動方針を推進します。

『鳥取大学カーボンニュートラル宣言』

鳥取大学は、二酸化炭素排出量を、2030年に2013年比60%、2040年には75%削減し、遅くとも2050年までに、実質的なカーボンニュートラルを目指します。そのため、温室効果ガス排出削減に資する本学独自の研究およびイノベーション創出を推進します。

■鳥取大学カーボンニュートラル行動方針

- ・省エネルギー、資源節約の徹底、低二酸化炭素排出量の電力事業者との契約導入、再生可能エネルギーの利用拡大。
- ・浜坂地区における先行取組、湖山地区におけるイノベーション・コモンズ構想、米子地区におけるスマートホスピタル構想の推進。
- ・地球温暖化・気候変動、グリーンエネルギーの創出、次世代二次電池、エネルギー削減や二酸化炭素排出削減に資する固体触媒、低炭素社会を目指した社会基盤構築、温室効果ガスを排出しにくい作物開発、未利用生物資源の有効活用など、本学ならではの研究活動および関連する産学連携活動と研究成果の社会実装の推進。
- ・環境に関わる一般基礎教育、専門教育、SDGsの達成に取り組める人材の育成を更に加速し、カーボンニュートラル実現に貢献できる人材を教育・育成。
- ・地方自治体および地域の産業界、金融界との緊密な連携による、地域におけるカーボンニュートラルの推進。



地球温暖化、気候変動に関わる研究拠点：
乾燥地研究センターのアリドドームと社会
実装を目指すバタフライ風車（浜坂地区）

【担当】研究推進機構、研究推進部

地域参加型・実践型研究教育活動の推進と地域貢献

大学運営



【活動概要】

○「人口希薄化地域における地域創生を目指した実践型教育研究の新展開」を図るという本学の基本戦略を推進するため、地域参加型研究と地域実践型教育(大学教育と社会教育)の全学的展開に向けて、様々な分野の地域課題の発掘・解決を図る取組を支援・推進しています。

○地域のニーズや関心に即したものを選定し、その内容や成果を一般の方に分かり易く説明する講座(サイエンス・アカデミー)を開催する他、地元企業等のニーズに即したりカレント教育を実施しています。

○学生が、地域への関心を高め、知識や実践的なスキルを身に付けることのできる地域志向型人間力育成プログラムとして、「地域創生推進プログラム」を展開しています。特に、地域から持ち込まれた問題の解決に学生グループが主体的に取り組む課題解決型学習(PBL)をはじめとした地域実践型教育の全学的展開を推進しています。また、地域実践型教育活動や特色ある学生教育を試行する取り組みや地域に出かけ地域と協働する学生による課外活動を支援・推進しています。

○地域創生を担い得る人材に育った学生の地元定着促進にも力をいれており、県内の他の高等教育機関や自治体、経済団体等と連携して、地域が求める人材を育成する教育カリキュラムを開発・実施するとともに、学生のインターンシップ参加や地元企業訪問を促進する等の取組を展開しています。

○地域課題の発掘・解決に資する調査・研究、教育・啓発等に係る事業を、鳥取大学が行政機関等から受託する場合の窓口として、保健・福祉分野などの事業を受託・推進し、地域に貢献しています。

【担当】地域価値創造研究教育機構

地域価値創造研究教育機構



サイエンス・アカデミー

鳥取県立図書館で一般の方を対象として講座を開催。



地域創生推進プログラム

「とっとり暮らし早期体験学習」授業では地域に出かけ、課題とその解決への取り組みを学び、自らも提案。



学生の地元定着に向けた取組

本学独自の取り組みとして、企業見学シャトル便を活用し、地元企業を訪問。

すべての学生のQuality of College Lifeが向上し、ヘルシーキャンパスを構築することで、社会全体の健康増進を目指す

大学運営



【活動概要】

保健管理センターでは、すべての学生が、心身共に健康で、穏やかに、充実したQuality of College Life (QOCL) を過ごせるよう、専門のスタッフ(医師、保健師、看護師、カウンセラー)が勤務し活動しています。

- 相談・カウンセリング・診察：心身の不調、不安・悩みに応じています。HPのお問い合わせフォームから申し込みができます。希望者にはリモートカウンセリングを行っています。
- 健康診断：学生健康診断を実施しています。問診票や結果に基づき、個別にアドバイスや診察を行っています。
- 健康指導等：身長体重計・体組成計(InBody)、血圧計等が自由に使用でき、皆さんの日々の健康管理に活用できます。測定結果や、アルコールパッチテスト・骨量測定等に基づき、フードモデル等を用いて、生活習慣の助言・指導を行っています。
- グループワーク：ソーシャルスキルやコミュニケーションスキルの獲得を目標として、グループワークを実施しています。

いずれも、個々の状況や希望に沿って専門スタッフが対応しています。必要に応じ、学内関連部署や学外の医療・保健福祉機関と連携しています。

その他にも、感染症予防対策や、心身の健康に関する啓発活動を行っています。

これらの様々な活動を通して、すべての学生のQOCLが向上し、ヘルシーキャンパスを構築することで、社会全体の健康増進へと繋がることを目指しています。

また、環境に配慮した取組として、保健管理センターのノベルティに紙製のクリアファイルを導入しています。

【担当】保健管理センター

保健管理センター

相談・カウンセリング・診察



カウンセリングルーム
カウンセラー・医師等専門のスタッフが対応しています。

健康指導等



アルコールパッチテスト

保健師・看護師が助言・指導を行っています。

体組成計InBody



フードモデル

グループワーク



前期・後期に分け、実施しています。
ロールプレイも行っています。

多様な個性・価値観やライフスタイルを尊重しあい、
無意識の思い込みやハラスメントに気づき、
誰もが健やかに成長や挑戦ができるキャンパスづくりを推進する

ダイバーシティ
キャンパス推進室

大学運営



【活動概要】

少子高齢化を迎えた日本社会が、その活性を維持しつつ、より豊かな社会へと変化するためには、広汎なダイバーシティ（多様性）を受け入れる社会、すなわち性別、年齢、障がいの有無など多様な人たちの生き方を尊重し、必要な時期に必要な支援を行うことにより、その能力を最大限に発揮できる社会を実現することが課題となります。

ダイバーシティキャンパス推進室では、性別・性自認・性的指向、障がい並びに様々な国及び環境のもとで生まれ及び育ちなどによる、多様な個性・価値観を尊重し、偏見、差別及びハラスメントのないキャンパス作りを行っています。

学びやすい、働きやすい環境づくりでは、オールジェンダートイレの設置や生理用品の配置、休業・休暇に関するパンフレットの制作などに取り組んでいます。

【担当】ダイバーシティキャンパス推進室

総務企画部人事課

連携：鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センター

支援活動



研究者支援、ライフイベント支援



女子学生のキャリア支援

セミナー・講演会などの啓発活動



変わる社会と男性育休の現在地



ライフプラン・介護・LGBTQ等

相談・休憩室



相談対応

過ごしやすい環境づくり



オールジェンダートイレ設置
生理用品の配置